

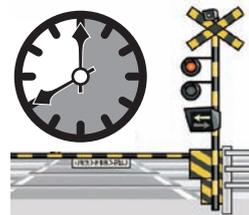
古川なおき 第134号 レポート

自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務活動報告

2016年3月1日発行



鶴ヶ峰駅周辺の踏切解消に向けて



旭区の長年の懸案の一つに「鶴ヶ峰駅の踏切解消」があります。ピーク時に1時間のうち40分以上遮断機が上がらない踏切を「開かずの踏切」としてはいますが、鶴ヶ峰駅周辺には5箇所もあり、街を分断しています。朝夕ラッシュ時の救急車の移動にも影響しており、この問題は自民党としても以前から当局に要望していましたが、先日の横浜市会本会議で自民党松本議員の質問に対し、林市長から解決に向けた明快な答弁をいただきましたのでご報告させていただきます（新年度予算では調査費として6600万円を計上）。

横浜市では、連続立体交差化による対策の必要がある場所を「鶴ヶ峰駅周辺」を含め5区間に絞っていましたが、この度、交通渋滞の解消や周辺道路の整備など複数の効果が同時に実現できることを重視して、相鉄線「鶴ヶ峰駅周辺」を最優先に事業化の検討を進める区間として選定しました。踏切解消のためには相鉄線が地下化するのが街にとっては一番良いのですが、今後2年間をかけて「高架化」または「地下化」の整備手法を検討することになります。事業化までに7年、事業化後は10年以内に完成することが理想です（ち

なみに星川駅～天王町駅間の立体交差は事業化後17年もかかりそうです）。

厳しい財政状況の中、横浜市だけでなく国の補助も確保しなければならず、実現するまではまだ課題があり、横浜市と国と一丸となって取り組まなければなりませんので、地元からも引き続き強く要望したいところです。

相鉄線が地下化となれば、鶴ヶ峰駅が地下駅となり鶴ヶ峰駅北口再開発も促進することと思います。また、二俣川駅南口再開発に関連し、鴨居上飯田線など現在計画中の道路が順次整備されていけば、車の通行がスムーズになり、歩行者の安全も守られ、安心して快適な旭区の街づくりが進んでいくことでしょう。相鉄さんの意向もありますが、線路の跡地も有効活用させていただければ街も活性化します。

来年は、ズーラシアで「第33回全国都市緑化よこはまフェア」が開催され、さらに上瀬谷通信施設跡地での花博開催の可能性も出てきました。横浜の西部からも、横浜市に元気と活力を与えたいと思います！

横浜市議員 古川直季



古川なおき プロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了/横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)

現在・平成27年：政策・総務・財政委員会委員長/健康づくり・スポーツ推進特別委員会/自民党横浜市議員団所属
横浜市会FCキャプテン/希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事/横浜スキー協会会長/旭区サッカー協会顧問
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問/旭区剣道連盟顧問

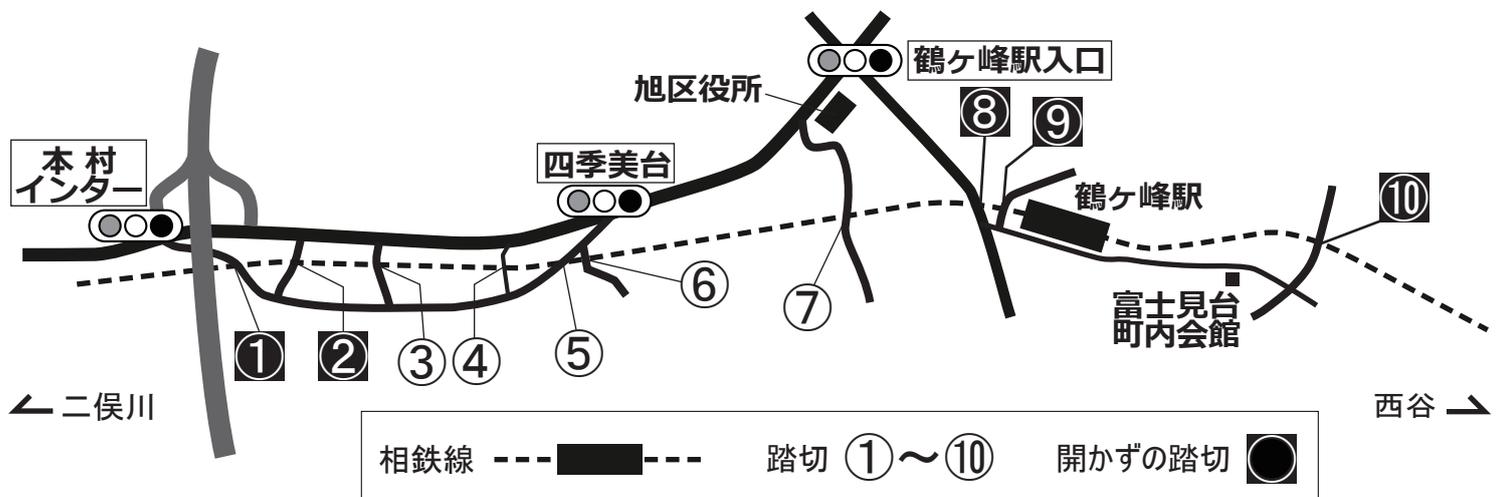
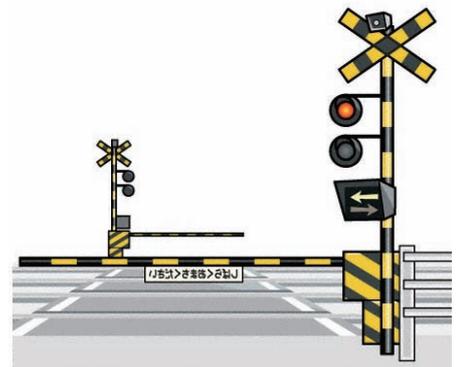


将来的に「開かずの踏切」が無くなります！

相鉄線「鶴ヶ峰駅周辺」2.7kmを最も優先的に、事故と交通渋滞の解消を目指して踏切をなくしていくため、横浜市が『事業化検討』を始めます！

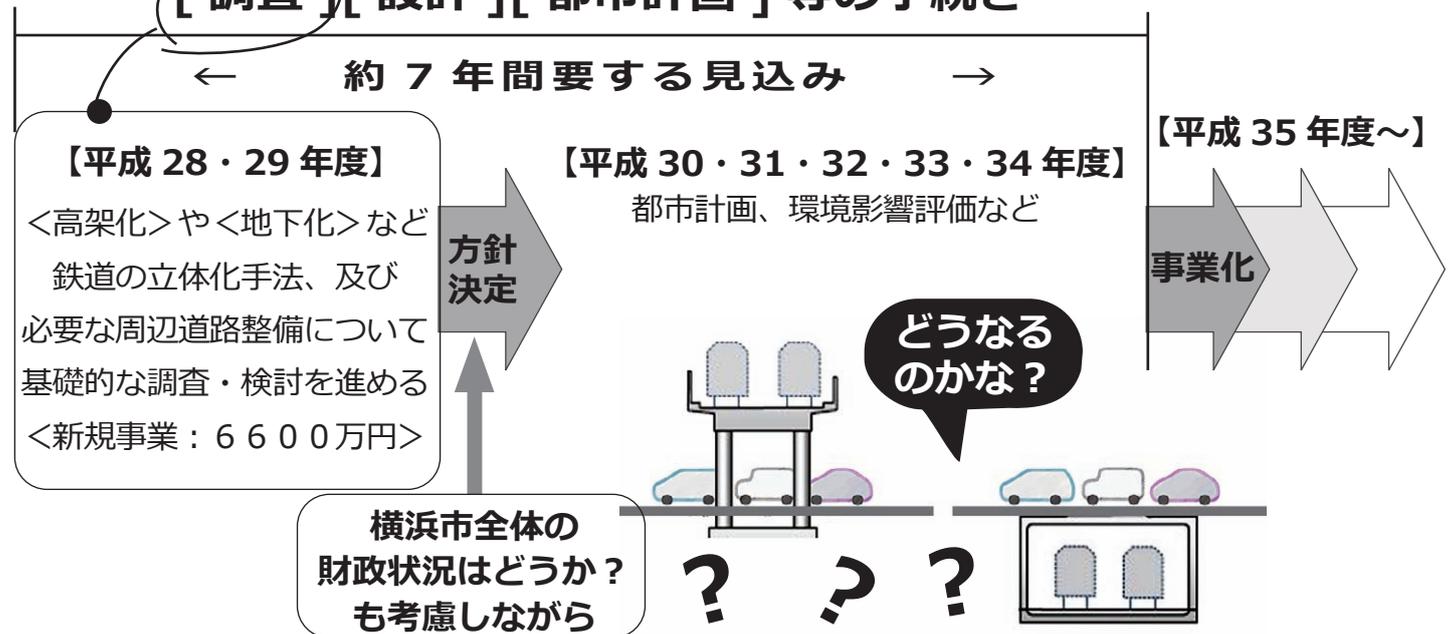
この対象区間の踏切は10箇所。その内、5つは「開かずの踏切」で、地元でも有名です。「開かずの踏切」とは、ピーク時に1時間あたり40分以上閉まっている踏切のことです。

横浜市の報告によると、この2.7kmにおける交通遮断量のうち、＜自動車の交通遮断量＞は、131,448（台時/日）。＜歩行者等の交通遮断量＞は、189,912（台人時/日）です。聞きなれない言葉ですが＜自動車、歩行者等交通遮断量＞とは、「交通量 × 遮断時間」で算出されるもので、踏切の混雑度合いを示す数値です。



いつ? まずは、調査することから始めます。

【調査】【設計】【都市計画】等の手続き



お気軽にご連絡ください。
FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000
E-Mail: jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています!

古川なおき政務調査事務所
〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1
希望ヶ丘駅より徒歩6分

